

令和6年度 災害対策本部設置運営訓練の実施

阪神・淡路大震災から30年の節目を前に、令和6年能登半島地震での支援経験等を踏まえ、**南海トラフ地震が発生した場合の対応等について**、災害対策本部員（災害対応を中心となって担う本庁部長等）等の対応能力向上を図ることを目的として訓練を実施する。

訓練のポイント

- 1 震災30年事業の一つとして全庁を挙げて実施。震災を経験しない職員が増える中においてもこれまでの災害対応の経験と教訓を全庁に繋いでいく。
- 2 能登半島地震で顕在化した、孤立集落、インフラ途絶等の課題を踏まえたシナリオを設定。
- 3 脅威が迫る南海トラフ地震を想定した実践的な地震・津波訓練を展開。

災害対策本部会議の様子



訓練実施概要

○日 時：令和6年12月23日（月）15:00～16:30

○場 所：兵庫県災害対策センター災害対策本部室

○出席者：約40名 本部長(知事)、副本部長(副知事・防災監)、本部員(各部長等)
淡路地方対策本部長、淡路地域3市対策本部員、関係機関（気象台・自衛隊等）

○内 容：和歌山県南方沖を震源とするM9級、最大震度7の地震と津波が発生。
県内全体で甚大な被害が発生し、上下水道の途絶、複数の孤立集落等を把握。

15:00～16:00	対策本部員等による災害対策本部会議（発災9時間後の第3回対策本部会議を想定）
16:00～16:30	対策本部員による講評・振り返り

(参考) 令和6年度大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練の実施

頻発・激甚化する自然災害において、行政、社会福祉協議会、NPO等がそれぞれの強みを活かしつつ、連携した支援ができるよう、被災者が抱える多様な課題の解消に向けた支援の手法等をグループワークを通じて学ぶ訓練を実施します。

○日 時：令和6年12月25日（水）10:30～16:30

○場 所：神戸クリスタルタワー3階「クリスタルホール」
（神戸市中央区東川崎町1-1-3）

○対象者：行政職員、市区町社協職員、NPO、学識者、
災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議構成員 等

○内 容：（1）講義・対談

テーマ「被災者の早期生活復旧に向けた連携支援
～災害ケースマネジメントから考える～」

登壇者：津久井 進氏（弁護士、日本弁護士連合会災害復興支援委員会前委員長）

頼政 良太氏（被災地NGO協働センター代表、関西学院大学人間福祉学部助教）

（2）グループワーク

（3）グループ発表、全体共有、質疑応答、講評

講評者：室崎 益輝氏（神戸大学・兵庫県立大学 名誉教授）